

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 7 月 13 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (7/13 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 2.0 m <sup>3</sup> /h	36.8	105.4 kPa abs	A系: 0.03 vol% B系: 0.02 vol%
		給水系: 約 3.5 m <sup>3</sup> /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 5.7 m <sup>3</sup> /h	49.1	5.64 kPa g	A系: 0.09 vol% B系: 0.10 vol%
		給水系: 約 3.0 m <sup>3</sup> /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系: 約 5.0 m <sup>3</sup> /h	48.6	0.18 kPa g	A系: 0.25 vol% B系: 0.23 vol%
		給水系: 約 3.3 m <sup>3</sup> /h			

\* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【2号機】・7/11 原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリングを実施。分析の結果、キセノン 135 は当該システム入口でキセノン 135 が検出限界未満(検出限界値  $1.1 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ )であり、再臨界判定基準である  $1 \text{Bq/cm}^3$  を超えていないことを確認。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (7/13 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	26.0
2号機	循環冷却システム	運転中	28.0
3号機	循環冷却システム	運転中	26.6
4号機	循環冷却システム	運転中	34

\* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 ( 高温焼却炉建屋 ) ]	7/12 10:43 ~ 移送実施中
	タービン建屋		
3号機	3号機	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 ( 高温焼却炉建屋 ) ]	7/12 10:31 ~ 移送実施中
	タービン建屋		

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (7/13 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 ( サリー )	除染装置	淡水化装置 ( 逆浸透膜 )	淡水化装置 ( 蒸発濃縮 )
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H24/6/21 12:05 H1スキッド内のバルブ交換工事を行うために、セシウム吸着装置を停止。停止期間は約1ヶ月の予定。なお、バルブ交換工事期間中は第二セシウム吸着装置による処理を継続予定であり、滞留水処理、原子炉注水については問題ない。

## <5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H24/7/12 13:30頃 3号機増設廃棄物地下貯蔵建屋内における流入水の有無について調査を実施したところ、建屋内の廃スラッジ貯蔵タンクおよび廃樹脂貯蔵タンク周辺に水が溜まっていること、また、廃スラッジ貯蔵タンク室の天井貫通部に土砂が堆積していることを確認。溜まり水の量は、全体で約 155m<sup>3</sup>と推定しているが、溜まり水は建屋内に留まっており、建屋外に水が流出する可能性はない。なお、雰囲気線量率はタンク上部にて 0.06mSv/h であり、サンプリング結果は、ガンマ核種合計で  $3.8 \times 10^1$  Bq/cm<sup>3</sup> (廃樹脂貯蔵タンク室)であった。3号機増設廃棄物地下貯蔵建屋は3号機原子炉建屋上部ガレキ撤去工事と干渉することから、建屋地上部を撤去しており、地上から天井の配管貫通部等を通じて雨水が流入したものと推定。今後、止水処理について検討する予定。

以上